

【JBA創薬モダリティ基盤研究会会員、JBA法人会員、JBA個人会員（アカデミア）限定】



JBA創薬モダリティ基盤研究会

第2回 AMED 先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業 連携講演会

生体内合成化学治療

～体内のがん細胞で薬剤を作る～

開催日時：2023年9月27日（水）13時15分～14時40分

セミナー形式：MS-teams（定員120名）

主催：(一財)バイオインダストリー協会
創薬モダリティ基盤研究会

講師：田中 克典氏

（東京工業大学 物質理工学院 教授

理化学研究所 開拓研究本部 主任研究員）



我々は、体内の疾患部位に選択的に装着できる「静脈投与の人工金属酵素」を開発し、当該部位で薬剤を「現地合成」して治療する研究を進めている。本日は、デリバリーシステムとして糖鎖を付けた人工金属酵素をKras変異がんPDXに装着し、プロドラックを投与した際に、副作用なくがんを効果的に治療することに世界で初めて成功した成果を主に紹介する。

これら成果を踏まえ、「人工金属酵素」や「糖鎖デリバリーシステム」の創薬モダリティとしての展開の可能性や、「プロドラック」戦略としての応用可能性について、議論を進めたい。

MS-teams：JBAホームページよりお申し込みください。

締切：2023年9月22日（金）17時

お問合せ：(一財)バイオインダストリー協会
（担当：北嶋、渡邊、岸本）